

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成27年4月掛川市教育委員会定例会		
場 所	市役所南館 教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭
開 催 日 時	平成27年4月27日(月) 午後1時30分から午後3時50分まで		
作 成 日 時	平成27年5月15日(金)	次回開催日	平成27年5月27日(水)
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり		
出 席 者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員 教育次長 こども希望部長 山田文子 小野恵美子 山本和子 永田孝明 松浦昌巳 松本一男 高川佳都夫 学務課長 学校教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室指導主事 教育政策室教育企画係長 教育政策室教育企画係 中山弘一 佐藤嘉晃 栗田一吉 村松武司 堀賢規 豊田彰規 富田正昭 杉村省吾		

会議次第

1 開 会

2 3月教育委員会定例会会議録の承認について

3 教育長の報告

(事務報告及び行事予定)

4 協議事項

- (1) 平成27年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱について (資料 1)
- (2) 平成27年度掛川市特別支援教育連携協議会委員の委嘱について (資料 2)
- (3) 掛川市学校給食共同調理場長の任命について (資料 3)
- (4) 掛川市公民館運営審議会委員の委嘱について (資料 4)
- (5) 掛川市文化財保護審議会委員の委嘱について (資料 5)
- (6) 平成27年度託児サポーター派遣事業 (資料 6)
託児コーディネーターの委嘱・託児サポーターの登録について
- (7) 平成27年度掛川市立小中学校の教育課程について (資料 7)
- (8) 掛川市指定有形文化財の指定について (資料 8)
- (9) 平成27年度掛川市立幼稚園の教育課程について (資料 9)

5 報告事項

- (1) 市内小中学校のあらわれについて (資料 10)
- (2) 第10回記念掛川・新茶マラソン大会結果報告について (資料 11)
- (3) 平成26年度掛川市立図書館利用状況等について (資料 12)
- (4) 平成27年度教育委員会事務分掌等について (資料 13)
- (5) 平成26年度教育委員会主要事務事業について (別 冊)

6 その他

- (1) 次回定例会の日程等について (資料 14)

7 閉 会

協議事項

教育長：協議事項の（１）平成27年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱についてから（６）平成27年度託児サポーター派遣事業託児コーディネーターの委嘱・託児サポーターの登録についてまでは、人事案件でありますので、非公開とさせていただきます。

（１）平成27年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱について（非公開）

学校教育課長から、平成27年度掛川市就学支援委員会委員の委嘱について説明があった。

質疑の後に、承認された。

（２）平成27年度掛川市特別支援教育連携協議会委員の委嘱について

学校教育課長から、平成27年度掛川市特別支援教育連携協議会委員の委嘱について説明があった。

質疑の後に、承認された。

（３）掛川市学校給食共同調理場長の任命について

学務課長から、掛川市学校給食共同調理場長の任命について説明があった。

質疑の後に、承認された。

（４）掛川市公民館運営審議会委員の委嘱について

社会教育課長から、掛川市公民館運営審議会委員の委嘱について説明があった。

特に意見はなく、承認された。

（５）掛川市文化財保護審議会委員の委嘱について

社会教育課長から、掛川市文化財保護審議会委員の委嘱について説明があった。

質疑の後に、承認された。

（６）平成27年度託児サポーター派遣事業託児コーディネーターの委嘱・託児サポーターの登録について

こども希望部長から、平成27年度託児サポーター派遣事業託児コーディネーターの委嘱・託児サポーターの登録について説明があった。

質疑の後に、承認された。

教育長：それでは、「(7) 平成27年度掛川市立小中学校の教育課程について」以降につきましては公開とさせていただきます。

(7) 平成27年度掛川市立小中学校の教育課程について

学校教育課長から、平成27年度掛川市立小中学校の教育課程について以下のとおり説明があった。

掛川市立小中学校の教育課程については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条により、掛川市教育委員会が、管理し執行するものであります。

参考までに、原田小学校と大須賀中学校の教育課程編成調査表を添付させていただきました。前期後期の授業日数や夏季休暇・冬期休暇の日数、入学式・卒業式及び始業式・終業式の日程等が掲載されています。また、すべての小中学校の主要行事である修学旅行、運動会、健康診断等の日程が記載された一覧表を確認していただき教育課程の内容を御確認いただきたいと思います。

委員：現在、市内の小中学校は、2学期制で、成績については、小学校が3段階、中学校が5段階評価とお聞きしています。小学校の低学年の内は3段階評価でもいいと思いますが、中学校を意識する高学年については、5段階評価の方が望ましいと思います。3段階だと自分の子どもが、どの程度の学力で、どの辺の位置なのか把握しにくく心配になる時があります。特に、自分の子どもに足りていない部分を知りたいという希望はあります。また、2学期制であると、通信簿を渡される時期が10月のお祭り前くらいになり、重みがないように思います。従来、夏休み前に通信簿をいただき、夏休みの過ごし方や目標が、立てやすかったように感じています。学期制や成績評価等の制度をすぐに改革してほしいということではありませんが、現場の先生方や校長先生の意見もお聞きしたいし、それぞれのメリット、デメリットを検証していく必要はあると思います。

委員：円卓熟議において、現場の先生から、図工や音楽のように授業の回数が主要科目に比べて少ない科目については、2学期制の方が評価しやすいといった意見も聞かれ、メリットのひとつであると思いました。やはり、小学校の低学年の内は3段階評価でもいいと思いますが、高学年は、5段階評価がいいと思います。

委員：制度の改革をする場合には、2学期制と3学期制や成績評価について、両方経験された先生からご意見をいただき、判断された方がいいと思います。また、2学期制や成績評価について、随時反省をしていく必要はあると思います。

学校教育課長：成績評価の段階については、市内の小中学校の統一をせず、学習指導要領に基づいて評価するよう、各学校におまかせしてあります。小学校については、ほとんどの学校が3段階の評価をしていると認識しています。数年前、2学期制に移行する時に、検討しましたが、今はしていない状況であります。反省や検討をしていく必要はあると思います。2学期制の中で、成績表を2回出すか、3回にするかは、市内の5つの地域の中で、各学校におまかせしてあります。こだわりを持たずに柔軟に考えていけばいいと思います。

教育長：成績、評価等につきましては、各学校に説明責任がありますので、三者面談の機会などを利用してお聞きするのがいいと思います。また、併せて、夏休みの過ごし方等のアドバイ

スも聞くと良いと思います。

(8) 掛川市指定有形文化財の指定について

社会教育課長から、掛川市指定有形文化財の指定について以下のとおり説明があった。

皆様御案内のとおり「松ヶ岡」が、何も文化財の指定を受けていませんので、まず市の指定を受けていくものであります。掛川市文化財保護条例第4条第1項の規定により、掛川市指定有形文化財の指定について掛川市文化財保護審議会に諮問し、答申をしていただくこととなります。今回の指定候補物件であります、所在地は、掛川市南西郷838番地であります。指定の理由であります、「松ヶ岡」は、江戸時代後期の豪商の建物で、建造物の調査により棟札が発見されまして、1856年の建築であることが確定しました。また、主屋や長屋門等が建築当時のまま残され、第一級材料をもって丁寧な細工によって建築されたことや、建物と庭園がほぼ当時の原型を残していて貴重であることから、指定をお願いするものであります。よろしく御審査をお願いいたします。

委員：このような文化財については、まず市で指定され、次に県から国へとステップを踏んで申請し、指定されていくと聞いています。長く保存していくには、文化財に指定いくことが、一番良い方法であると考えます。国から指定されれば、文化庁から助成があると聞いています。是非進めていってほしいと思います。

委員：文化財として指定されるためには、専門家に調査を依頼し、資料として冊子等にまとめていく必要があると思います。

教育次長：これまで、東京芸術大学に文化財的調査をしていただいております。

(9) 平成27年度掛川市立幼稚園の教育課程について

こども希望部長から、平成27年度掛川市立幼稚園の教育課程について以下のとおり説明があった。

平成27年度掛川市立幼稚園の教育課程については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条により、掛川市教育委員会が、管理し、執行するものでありますので、御協議をお願いします。

市内には、すこやか幼稚園部をはじめ公立幼稚園が、全部で11園あります。法律では、教育週数の規定がありまして、39週を下回ってはならないと定められています。すべての園で40週を超えていますので、法の規定に基づき運営されています。また、年間の主要行事である入園式、始業式、運動会、遠足等が、すべての園で計画されています。

園の教育課程の一例として、三笠幼稚園の編成調査表をお示しさせていただきました。1日の流れとしましては、園児が、午前8時に登園し、午前中に遊びの活動を行い、給食をいただき、午後にクラス活動を行い、午後2時に降園となります。希望により午後5時まで預かり保育を実施しています。以上であります。

5 報告事項

(1) 市内小中学校のあらわれについて

学校教育課長から、市内小中学校のあらわれについて、以下のとおり説明があった。

まず、最近のトピックですが、栄川中学校で東日本大震災から4年目を迎えた3月11日に『3.11に寄せて「花は咲く」を歌おう集会』が行われました。この集会は、防災教育と合唱文化で自分たちにできることはないかと生徒会が企画したものであります。震災が起きた午後2時46分の時間に合わせ、全校生徒が体育館に集まり、合唱とともに復興ボランティア活動の報告や、災害から感じた思いなどを発表しました。

3月19日には、「第11回都道府県対抗全日本中学女子ソフトボール大会」静岡県選抜選手に選ばれた選手5人が3月下旬に福岡県で開催される大会を前に、市長を表敬訪問しました。選抜チームの主将を務める高橋さんは、昨年を上回る成績を残したいと意気込みを語りました。

3月の交通事故は、小学校0件、中学生1件でありました。特に大きな事故はありませんでした。

非行等問題行動は、小学校7件、中学校4件でした。大きな事件は起きておりません。不登校は、小学校8人、中学校46人でした。

いじめ問題については、小学校4件、中学校0件という状況でした。特に、大きな問題として指導・対応に入っている案件はありませんでした。

以上が、掛川市内小中学校のあらわれに関する報告となります。

(2) 第10回記念掛川・新茶マラソン大会結果報告について

社会教育課長から、第10回記念掛川・新茶マラソン大会結果報告について、以下のとおり説明があった。

新茶マラソンは、例年、4月の第2週の日曜日に開催されますが、今年は、県議会議員選挙と重なりましたので、19日に、つま恋をメイン会場としまして開催されました。当日の暑さにより、救急が3件ほどあり、全体的として救護が大変でありました。走り終えた選手にコースの状況を伺ったところ、「コースのアップダウンがきつく、終盤、ゴールに近づくほど坂道がきつく、どのコースよりもきつい」といった感想がありました。

フルマラソンのエントリー数は、男女合わせて6,512人で、出走者5,393人のうち完走者が4,971人で完走率は、92.1%でありました。フルマラソンと10km、5km、3.5km等、全体のエントリー数は、男女合わせて9,792人で、出走者8,287人のうち完走者が7,775人で完走率は、93.8%でありました。当日受付可能な、1kmファンランには、300人が完走しました。

(3) 平成26年度掛川市立図書館利用状況等について

図書館長から、平成26年度掛川市立図書館利用状況等について、以下のとおり説明があった。

中央図書館、大東図書館、大須賀図書館の3館合わせた実績であります。前年度と比較しまして入館者数が、14,169人の減、貸出利用者数が555人の減、貸出冊数が18,835人の減でありました。図書館では、入館に結びつく様な各種催し物等やイベントを実施し取り組んできましたが、結果的に増加に結びつきませんでした。今年度も図書館の事業計画にありますように様々な企画を考え、増加に結びつくよう取り組んでいきたいと考えています。

年齢別の利用状況ですが、小・中・高校・20代と年代が上がるに従い利用率が減少する

傾向にあります。若者の読書離れはインターネットの普及などが原因と考えられますが、読書の楽しさを幼児期から体験してもらうとともに、子育て世代の親子読書の推進等に力を入れていく必要があると考えています。

また、市では2台の移動図書館車を備え、小中学校を中心に巡回し読書活動に取り組んでいます。平成27年度につきましては、希望の丘に特別支援学校が開設されましたので、そちらにも巡回し、読書の推進に努めていく計画であります。

委員：昨年、中央図書館の駐車場整備実施されましたが、利用者数の減少に影響したと考えられますか。また、図書館周辺の渋滞は解消されたのでしょうか。

図書館長：駐車場整備期間は、図書の蔵書点検期間で閉館時に実施させていただきましたので、直接の影響はなかったと考えています。また、駐車場整備の結果、車が東から入って、西へ出るルートに変更しましたので、地元からも駐車待ちの渋滞が解消されたと評価をいただいています。

委員：市立図書館の利用者数の減少については、学校図書館の利用から影響を受けていると考えられますか。

図書館長：市立図書館と学校図書館の関係については、役割等が違うと思いますので一概に言えないと思いますが、市立図書館を利用する小中学生は、市域が広いので、遠隔地の子どもについては、土日に保護者と一緒に利用していることが多く、平日は、学校図書館を中心に利用していることが考えられます。また、図書館近郊の子どもは、平日にも利用していると思います。市立図書館に限らず、全国的にも読書離れによる図書館の利用が減少しているのが現状です。図書館の成果指標として、利用者数など利用率もその一つではあると思いますが、図書館の役割は他にもあり、利用率がすべてではないと思います。

学校図書館と市立図書館との連絡会議もありますので、今後も連携を深め、子どもたちの読書活動につながるように取り組んでいきたいと考えています。

(4) 平成27年度教育委員会事務分掌等について

教育政策室長から、平成27年度教育委員会事務分掌等について、以下のとおり説明があった。

昨年度と比較して変わった部分のみ説明させていただきます。

2つありまして、1つ目は、学校教育課であります。本年度、防災教育に力を入れていくという方針から、防災教育担当の指導主事が1名増員されました。課全体としましても、1名増員であります。

2つ目は、社会教育課でありまして、昨年度まで、二の丸美術館係が社会教育課の所管でありましたが、本年度から、ステンドグラス美術館がオープンすることから、企画政策部の文化振興室の中に美術館係が設置され、二の丸美術館とステンドグラス美術館を所管することとなりました。

以上であります。

(5) 平成26年度教育委員会主要事務事業について

教育委員会各課長から、平成26年度教育委員会主要事務事業の主な内容について、以下

のとおり報告があった。

教育政策室：「かけがわ教育の日」開催事業については、11月15日に開催され、好評のうちに終了し、12月初旬から中旬にかけて、中央図書館において11月15日の「教育の日」に展示した園・学校展示を再び展示し、多くの市民に見ていただいた。その他「中学校区学園化構想」の推進、「かけがわお茶の間宣言」の普及促進等について報告があった。

学務課：「西中学校校舎増築事業」については、順調に工事が進み、2月中に工事が完了し、3月9日には、落成式を開催した。委員の皆様の御出席をいただいた。その他4工事等の事業及び「学校給食のセンター化事業」については、工事等の進捗状況や委託業者の決定等の報告があった。

学校教育課：「イングリッシュイマージョンキャンプ」及び「デイトリップ」については、今までの事業の反省を踏まえ、来年度は、集約した事業にしていく旨の説明があった。その他「かけがわ学力向上ものがたり」等7事業について、事業の進捗状況や実績についての報告があった。

社会教育課：「60歳の集いの開催」については、2月22日の開催に向けて、準備を進めているところである。当日の委員の皆様の御出席をお願いする。その他「成人式の開催」等7事業について、事業の進捗状況や実績についての報告があった。

図書館：「掛川市図書館協議会」事業については、11月7日に静岡市の中央図書館及び県立図書館の先進地を視察した。また、12月8日には、「第5回図書館協議会」がグランシップで開催され、委員と共に出席した。その他「掛川市子ども読書活動推進会議」等3事業について、事業の進捗状況や実績についての報告があった。

その他

(1) 次回定例会等の日程等について

① 5月教育委員会定例会日程

日 時： 5月27日（水） 午後1時00分～

開催場所： 南館教育委員会室

② 6月教育委員会定例会日程

日 時： 6月23日（水） 午後1時30分～

開催場所： 南館教育委員会室

(2) 臨時会等の日程について

① 退任教育委員感謝状贈呈式 5月19日（火） 午後1時00分～

新任教育委員辞令交付式 午後1時15分～

開催場所： 市役所本庁5階 市長応接室

② 臨時教育委員会 5月19日（火） 午後2時00分～

開催場所： 南館教育委員会室

(3) その他の予定について

①関東地区都市教育長協議会総会

日 時： 5月14日（木）午後1時15分～

開催場所： 千葉県千葉市

②かけがわ教育の日

日 時： 11月21日（土）午前9時00分～

開催場所： 大須賀中央公民館

委員からの意見

- ①平成26年度に機構改革により、幼児教育課が、市長部局であるこども希望部へ移ったが教育委員会の補助執行である。教育委員会に属しているという意識が薄れないようにしていただきたい。円卓熟議や園長会に私立の園から代表者でもいいので、メンバーとして入った方がいい。
- ②私立の幼稚園が増えていく中、私立と公立との幼稚園の連携や、教育委員会との連携のシステムの構築をしていただきたい。
- ③掛川市の現状の事業の取り組みを、一般市民や子ども達に知らせていける様なシステムの構築をお願いしたい。
- ④平成27年度に開館する「ステンドグラス美術館」ばかりでなく、二の丸美術館等も、子ども達に入ってもらえる工夫をしていただきたい。
- ⑤「松ヶ岡」については、市の関係者以外の第三者が褒めたり、マスコミで取り上げていただければ、地元の見方が変わるので、是非そのような動きをしていただきたい。